

ハスモンヨトウの発生状況について

1. ハスモンヨトウの発生状況について

フェロモントラップによる7月の誘殺数は、合志町では666頭（平年608頭）、鏡町では462頭（平年690頭）と平年並となっています（図1, 2参照）が、例年誘殺数が増加する時期になっています。また、今年の合志町の誘殺数のピークをみると、いくつかのピークが断続的に現れており、世代更新によるピークと飛来個体によるものと思われるピークが混在し、今後の密度増加が懸念されます。

サトイモほ場（15筆）での50株調査では、発生ほ場率93.3%（昨年76.5%）、平均寄生株率29.7%（昨年15.3%）であり、県内全域で多発傾向にあります（表1～4参照）。

表1 平成14年度サトイモ50株でのハスモンヨトウ発生状況調査

調査日	調査場所	寄生株数	寄生株率	50株当り卵塊・幼虫数			
				卵塊	若齢	中齢	老齢
8月2日	熊本市秋津	12	24.0	0	211	28	6
8月2日	嘉島町六嘉	7	14.0	2	0	115	5
8月2日	城南町	6	12.0	1	2	4	0
8月2日	菊池市 1	34	68.0	3	320	201	39
8月2日	菊池市 2	45	90.0	0	752	1040	144
8月2日	山鹿市 1	17	34.0	2	635	66	4
8月2日	山鹿市 2	12	24.0	0	275	132	16
8月2日	玉名市 1	12	24.0	0	174	98	1
8月2日	玉名市 2	24	48.0	1	409	249	74
8月1日	大津町 1	23	46.0	0	1	110	24
8月1日	大津町 2	5	10.0	0	0	84	1
8月1日	阿蘇町 1	1	2.0	0	0	0	1
8月1日	阿蘇町 2	0	0.0	0	0	0	0
8月1日	錦町	12	24.0	0	300	5	6

8月2日	上村	13	26.0	0	3	13	0
..	平均値	14.9	29.7	0.6	205.5	143.0	21.4

※発生ほ場率は93.3%

表2 平成13年度サトイモ50株でのハスモンヨトウ発生状況調査

調査日	調査場所	寄生株数	寄生株率	50株当り卵塊・幼虫数			
				卵塊	若齢	中齢	老齢
8月7日	熊本市秋津 1	3	6	2	0	0	2
8月7日	熊本市秋津 2	4	8	1	0	310	0
8月7日	嘉島六嘉 1	13	26	0	0	133	0
8月7日	嘉島六嘉 2	0	0	0	0	0	0
8月7日	竜北若洲 1	10	20	3	0	103	5
8月7日	竜北若洲 2	13	26	0	426	6	4
8月7日	七城町亀尾	2	4	0	5	0	0
8月7日	七城町荒巻	16	32	0	420	82	0
8月7日	菊鹿町山内	0	0	0	0	0	0
8月7日	菊鹿町久米野	3	6	0	109	0	0
8月7日	山鹿市南島	37	74	0	918	248	6
8月6日	御船町七滝	0	0	0	0	0	0
8月7日	矢部町田小野	1	2	0	0	1	0
8月6日	錦町一武	0	0	0	0	0	0
8月6日	免田町二子 1	21	42	0	403	158	6
8月6日	免田町二子 2	3	6	0	2	34	0
8月6日	免田町下乙	4	8	0	3	28	0

..	平均値	7.6	15.3	0.4	134.5	64.9	1.4
----	-----	-----	------	-----	-------	------	-----

*発生ほ場率は76.5%

表3 平成12年度サトイモ50株でのハスモンヨトウ発生状況調査

調査日	調査場所	寄生株数	寄生株率	50株当り卵塊・幼虫数			
				卵塊	若齢	中齢	老齢
8月2日	熊本市秋津1	27	54	0	627	60	1
8月2日	熊本市秋津2	7	14	0	459	7	0
8月2日	大津町新	8	16	0	55	169	0
8月3日	嘉島六嘉 1	7	14	0	54	2	0
8月3日	嘉島六嘉 2	25	50	1	381	313	10
8月3日	城南町 1	7	14	2	111	1	0
8月3日	城南町 2	13	26	1	556	1	0
8月3日	松橋町 1	0	0	0	0	0	0
8月3日	松橋町 2	11	22	0	0	23	0
..	平均値	11.7	23.3	0.4	249.2	64	1.2

*発生ほ場率は88.9%

表4 平成11年度サトイモ50株でのハスモンヨトウ発生状況調査

調査日	調査場所	寄生株数	寄生株率	50株当り卵塊・幼虫数			
				卵塊	若齢	中齢	老齢
8月2日	熊本市1	1	2	0	0	0	1
8月3日	熊本市2	2	4	0	2	0	0

8月3日	熊本市 3	13	26	0	201	288	2
7月30日	七城町	0	0	0	0	0	0
8月3日	富合町	10	20	0	0	158	0
8月3日	城南町 1	6	12	0	102	303	0
8月3日	城南町 2	2	4	0	0	42	0
8月3日	松橋町 1	4	8	0	106	7	0
8月3日	松橋町 2	6	12	0	310	30	0
..	平均値	4.9	9.8	0	80.1	92	0.3

*発生ほ場率は88.9%

ダイズほ場での発生は、通常8月中下旬以降に多くなりますが、すでに白変葉が見られるほ場もあり、また、一部の野菜ほ場では発生が多くなっています。

気象予報によると、8月の気温、降水量ともに平年並の予想ですが、梅雨明け以降晴天が続いており、今後も高温少雨傾向が続けば、ダイズをはじめ各種作物において発生が増加すると予想されます。以上のように現在の発生状況は平年並と思われるのですが、今後発生が多くなる要因はあっても、少なくなる要因は少ないと考えられますので、注意が必要です。

2. ダイズでの防除について

老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、分散前のふ化幼虫時を狙って薬剤散布します。すなわち、白変葉の発生初期またはトラップの誘殺ピークから10～15日目が防除適期と考えられます。最新のトラップデータは病害虫防除所のホームページ上で公開していますのでご利用下さい。

また、初期の白変葉には若齢幼虫が群棲していますので、低密度時は白変葉の除去も有効です。